

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2026 年 第 16 週（4 月 13 日～4 月 19 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	E 型肝炎 1 人 推定感染地域 国内
	レジオネラ症 1 人 病型 肺炎型
五類感染症	ウイルス性肝炎 1 人 病型 C 型
	後天性免疫不全症候群 1 人 病型 無症状病原体保有者
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 2 人
	侵襲性肺炎球菌感染症 2 人
	梅毒 7 人 病型 早期顕症Ⅰ期 4 人、早期顕症Ⅱ期 1 人、 無症状病原体保有者 2 人
	百日咳 9 人 年齢階級 1-4 歳 4 人、5-9 歳 1 人、 10 歳代 1 人、30 歳代 3 人
	麻しん 2 人 病型 麻しん（検査診断例） 1 人、 修飾麻しん（検査診断例） 1 人

## 〈麻しんの患者情報〉

麻しんは、麻しん（検査診断例）1 人、修飾麻しん（検査診断例）1 人の計 2 人の報告があった。年齢階級別では、20 歳代及び 40 歳代が各 1 人であった。2026 年の累計報告数は、麻しん（検査診断例）が 17 人、修飾麻しん（検査診断例）が 6 人の計 23 人となった。

（埼玉県感染症情報センター：麻しん及び風しん流行情報（<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/masinn.html#mashinn>））

## 〈定点把握疾患の患者情報〉

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（1.86→2.60：図 1）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、幸手（5.20→8.60）、秩父（0.00→3.00）、鴻巣（5.29→7.86）保健所管内で大きく増加した。新型コロナウイルス感染症（0.89→0.86：図 2）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。基幹定点における新型コロナウイルス感染症（入院）の報告は 12 人（前週 4 人）であった。急性呼吸器感染症（54.85→62.13：図 3）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎 4 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎 1 人、クラミジア肺炎 1 人、感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）1 人、インフルエンザ（入院）2 人の報告があった。

○全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構（JIHS）感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jihs.go.jp/>）で御覧になれます。

○麻しんについては、JIHS の麻疹 発生動向調査（URL：<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/index.html>）で御覧になれます。

○麻しんに関する特定感染症予防指針では、迅速な行政対応を行うためにも臨床診断を行った時点で臨床診断例としての届出を行うとともに、地方衛生研究所にてウイルス遺伝子検査等を実施するために必要な患者検体の提出を求めています。各医療機関において麻しんの臨床診断を行われた際は、検体提出の御協力をお願いいたします。なお、JIHS のホームページにて「麻しんを疑った際の対応（2026 年 3 月）」（URL：<https://dcc.jihs.go.jp/information/pdf/mashin20260327.pdf>）が掲載されています。参考に御覧ください。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

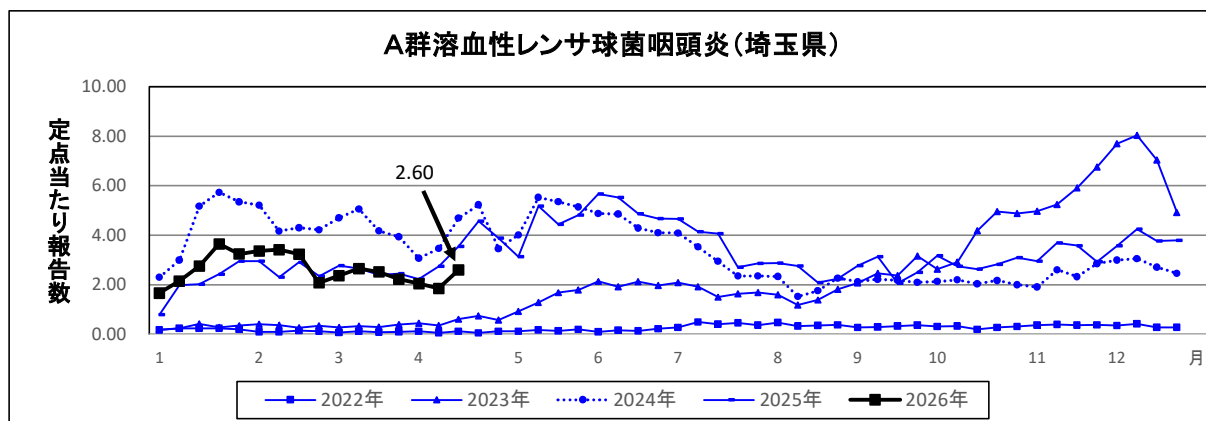


図2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

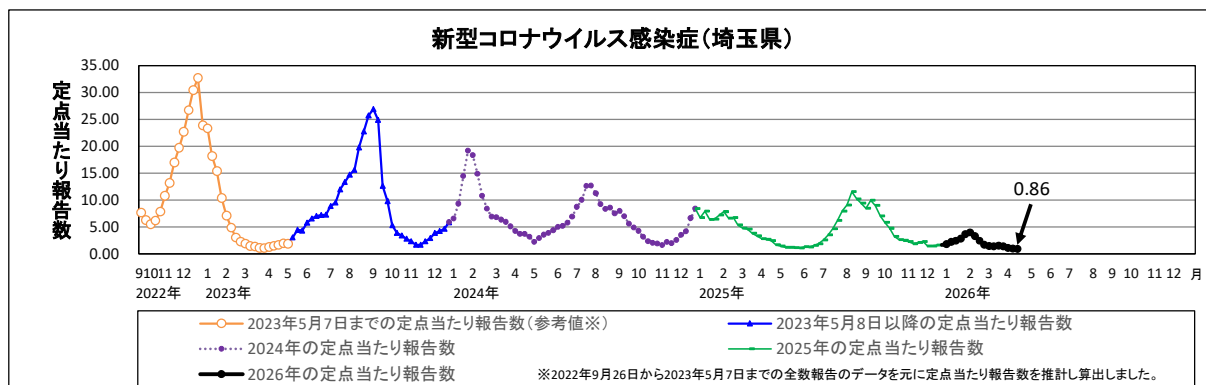
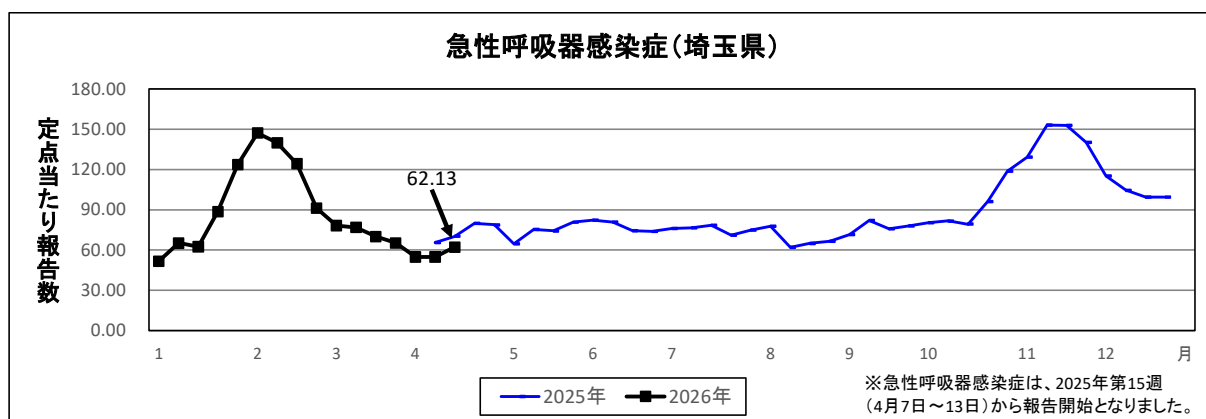


図3 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



急性呼吸器感染症における病原体検出状況は以下のページに掲載しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>

感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第16週)

(2026年4月21日 15:30集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核 *1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症		36			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎	1	27	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		2	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	30
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱			ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		10	水痘(入院例に限る)		5
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	7	先天性風しん症候群		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		12	多剤耐性緑膿菌感染症		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	7	152
急性脳炎		20	播種性クリプトコックス症		2
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群	1	6	百日咳	9	168
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	11	麻しん	2	23
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
侵襲性肺炎球菌感染症	2	36			

累計は診断週で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

## 結核届出状況(2026年3月分)

2026年3月の届出総数は、患者45人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者23人の計69人であった。前月と比べると患者数、無症状病原体保有者数ともに増加した。過去1年と比べると、患者数、無症状病原体保有者数ともに多かった。推定感染地域は国内36人、国外13人、不明20人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2025年3月～2026年3月)

	2025年*											2026年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計**	1月	2月	3月	累計***
<b>総計</b>	57	59	60	68	55	40	48	57	57	51	667	59	52	69	180
<b>年齢階級</b>															
10歳未満	2	1	2	0	0	1	1	0	1	0	14	1	0	0	1
10歳代	0	0	4	0	1	1	0	0	2	2	11	1	1	2	4
20歳代	7	5	7	8	8	6	8	12	9	5	87	9	8	14	31
30歳代	3	3	5	6	5	2	1	5	5	6	48	5	5	3	13
40歳代	8	5	3	6	3	6	4	5	6	1	53	3	5	5	13
50歳代	2	10	5	8	4	4	7	7	5	5	77	10	8	9	27
60歳代	7	4	5	8	10	1	5	2	4	3	61	5	0	4	9
70歳代	11	7	9	14	7	2	9	10	9	10	109	8	6	8	22
80歳代	11	11	13	12	15	12	10	14	12	13	143	14	15	19	48
90歳以上	6	13	7	6	2	5	3	2	4	6	64	3	4	5	12
<b>性</b>															
男	33	41	25	41	33	20	33	29	22	29	379	27	29	43	99
女	24	18	35	27	22	20	15	28	35	22	288	32	23	26	81
<b>類型</b>															
患者	35	40	38	48	38	29	36	37	41	35	439	37	33	45	115
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	3
無症状病原体保有者	22	19	22	20	17	10	12	20	16	16	226	21	18	23	62
<b>病型</b>															
肺結核	26	26	23	27	24	17	24	21	26	22	280	27	16	29	72
肺結核及びその他の結核	3	8	4	5	4	5	2	6	7	2	52	2	6	6	14
その他の結核	6	6	11	16	10	7	10	10	8	11	107	8	11	10	29
疑似症患者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	3
無症状病原体保有者	22	19	22	20	17	10	12	20	16	16	226	21	18	23	62
<b>推定感染地域</b>															
国内	35	24	35	40	31	18	24	29	34	29	364	31	28	36	95
国外	5	3	4	8	4	6	5	7	8	9	73	10	6	13	29
不明	17	32	21	20	20	16	19	21	15	13	230	18	18	20	56

\* : 2025年の届出数は暫定値

\*\* : 2025年1月から12月までの累積届出数

\*\*\* : 2026年1月からの累積届出数

3月に診断された69人を病型別にみると、肺結核は10歳代以上の年齢階級から計29人の報告があり、70歳代以上が13人で約45%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2026年3月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	
<b>総計</b>	29	6	10	1	23	69
<b>年齢階級</b>						
10歳未満	0	0	0	0	0	0
10歳代	1	0	0	0	1	2
20歳代	6	1	2	0	5	14
30歳代	1	0	1	0	1	3
40歳代	0	0	2	0	3	5
50歳代	6	0	0	0	3	9
60歳代	2	0	0	0	2	4
70歳代	2	2	2	0	2	8
80歳代	10	1	2	1	5	19
90歳以上	1	2	1	0	1	5

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2026年第16週

4月13日~4月19日)

保健所	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス 感染症	急性呼吸器感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
全 県	79	151	10,935	40	16	289	510	58	16	8	28	4	1	-	4	-	-	1	1	1	2	12
	0.45	0.86	62.13	0.36	0.14	2.60	4.59	0.52	0.14	0.07	0.25	0.04	0.01	-	0.09	-	-	0.08	0.08	0.08	0.17	1.00
朝 霞	16	25	861	5	1	26	25	4	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1.00	1.56	53.81	0.50	0.10	2.60	2.50	0.40	0.10	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鴻 巣	5	8	1,075	2	-	55	34	4	-	1	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.42	0.67	89.58	0.29	-	7.86	4.86	0.57	-	0.14	0.29	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	1	1	181	-	-	9	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.25	0.25	45.25	-	-	3.00	5.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	-	1	80	-	-	9	1	-	-	-	1	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1
	-	0.25	20.00	-	-	3.00	0.33	-	-	-	0.33	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00
本 庄	-	-	177	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	-	-	44.25	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
熊 谷	2	7	535	1	3	4	24	7	1	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	3
	0.22	0.78	59.44	0.20	0.60	0.80	4.80	1.40	0.20	0.20	-	0.20	-	-	0.50	-	-	-	-	-	1.00	3.00
加 須	5	1	58	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	1.00	0.20	11.60	-	-	1.00	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
春 日 部	6	4	526	-	2	11	27	2	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	1.00	0.67	87.67	-	0.67	3.67	9.00	0.67	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	7	21	893	12	2	43	41	2	1	-	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.78	2.33	99.22	2.40	0.40	8.60	8.20	0.40	0.20	-	0.20	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	-	2	314	-	1	2	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
	-	0.50	78.50	-	0.33	0.67	11.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	2.00
草 加	7	12	542	2	1	5	32	4	2	1	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.64	1.09	49.27	0.29	0.14	0.71	4.57	0.57	0.29	0.14	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	9	16	659	4	1	16	38	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	0.69	1.23	50.69	0.40	0.10	1.60	3.80	0.10	0.40	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	1.00	-
南 部	6	3	408	5	-	13	22	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1.20	0.60	81.60	1.67	-	4.33	7.33	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川 越 市	1	8	655	2	-	19	9	5	1	2	6	3	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.11	0.89	72.78	0.40	-	3.80	1.80	1.00	0.20	0.40	1.20	0.60	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	2	7	584	-	-	3	16	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
	0.25	0.88	73.00	-	-	0.60	3.20	0.40	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	2.00
川 口 市	5	5	882	2	2	18	60	8	5	1	4	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
	0.36	0.36	63.00	0.25	0.25	2.25	7.50	1.00	0.63	0.13	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00
さいたま市	7	30	2,505	5	3	49	128	17	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	0.16	0.70	58.26	0.18	0.11	1.75	4.57	0.61	-	-	0.25	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2026年第16週

4月13日～4月19日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	79	1	1	2	4	3	4	4	3	3	4	4	7	9	11	9	5	3	2	-	-
新型コロナウイルス感染症	151	3	2	12	5	7	5	7	3	5	7	8	9	10	9	25	7	9	6	4	8
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～								
急性呼吸器感染症	10,935	882	4,649	2,140	765	286	367	437	343	390	282	222	172								
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	40	5	10	18	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	16	-	2	3	2	2	2	3	-	1	-	-	1	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	289	-	2	5	20	36	34	35	25	30	19	17	38	2	26						
感染性胃腸炎	510	7	36	59	44	40	50	34	42	38	37	26	71	10	16						
水痘	58	-	1	4	4	4	1	9	10	3	4	3	12	2	1						
手足口病	16	-	-	10	2	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-						
伝染性紅斑	8	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-						
突発性発しん	28	-	6	13	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	4	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新型コロナウイルス感染症(入院)	12	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6				

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第14週 (3月30日～4月5日)

令和8年4月22日

## <全国情報>

**急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,764)**:インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(8.66)、長野県(7.68)、富山県(6.98)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は142例と前週と比較して減少した。都道府県別では36都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(15例)、1～9歳(61例)、10代(13例)、20代(1例)、30代(5例)、40代(6例)、50代(7例)、60代(4例)、70代(13例)、80歳以上(17例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は岩手県(3.90)、秋田県(2.52)、青森県(2.50)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は388例と前週と比較して減少した。都道府県別では44都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(12例)、1～9歳(29例)、10代(4例)、20代(1例)、30代(5例)、40代(6例)、50代(15例)、60代(43例)、70代(83例)、80歳以上(190例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,731)定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は岩手県(73.48)、群馬県(66.53)、富山県(66.31)である。

**小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,271)**:RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(1.69)、佐賀県(1.58)、長崎県(1.45)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第11週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.81)、福岡県(0.59)、長崎県(0.58)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は北海道(5.13)、鳥取県(5.11)、福岡県(5.06)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(9.25)、岐阜県(9.22)、島根県(8.73)である。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.93)、京都府(0.92)、沖縄県(0.88)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.20)、福井県(0.88)、岡山県(0.54)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第11週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.47)、岩手県(0.33)、愛媛県(0.30)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は石川県(0.21)、福井県(0.20)、和歌山県(0.15)、香川県(0.15)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福島県(0.10)、秋田県(0.08)、大分県(0.08)、長野県(0.07)である。

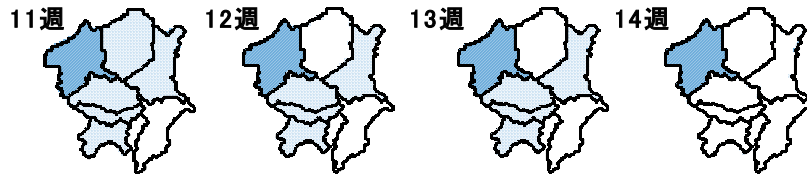
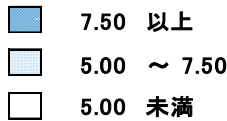
**基幹定点報告疾患**:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(0.50)、群馬県(0.44)、鳥取県(0.40)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。11都道府県から27例報告があり、年齢群別では0歳(4例)、1～4歳(6例)、5～9歳(16例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年 第14週(3月30日～4月5日):通巻第28巻 第14号より

## <関東情報>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、群馬県(7.80)からの報告が多い。

### 感染性胃腸炎



		2026年 14週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	12,086	2,644	121	125	162	464	347	939	486
	定点当たり	3.21	2.25	1.81	2.66	3.60	2.64	1.92	2.25	2.02
新型コロナウイルス感染症	報告数	2,890	1,026	57	37	60	183	175	279	235
	定点当たり	0.77	0.87	0.85	0.79	1.33	1.04	0.97	0.67	0.98
急性呼吸器感染症	報告数	161,916	55,403	3,318	3,044	2,994	9,581	8,387	16,676	11,403
	定点当たり	43.40	47.43	49.52	64.77	66.53	55.38	46.34	39.99	47.91
RSウイルス感染症	報告数	1,059	173	9	12	15	30	18	42	47
	定点当たり	0.47	0.24	0.24	0.44	0.60	0.27	0.17	0.16	0.34
咽頭結膜熱	報告数	466	76	3	4	7	17	9	20	16
	定点当たり	0.21	0.11	0.08	0.15	0.28	0.15	0.08	0.08	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,058	1,310	116	65	58	225	258	354	234
	定点当たり	2.23	1.85	3.14	2.41	2.32	2.05	2.37	1.35	1.68
感染性胃腸炎	報告数	10,481	3,103	155	97	195	464	376	1,242	574
	定点当たり	4.62	4.38	4.19	3.59	7.80	4.22	3.45	4.74	4.13
水痘	報告数	738	242	4	3	6	55	30	88	56
	定点当たり	0.32	0.34	0.11	0.11	0.24	0.50	0.28	0.34	0.40
手足口病	報告数	186	30	2	-	1	11	4	9	3
	定点当たり	0.08	0.04	0.05	-	0.04	0.10	0.04	0.03	0.02
伝染性紅斑	報告数	166	33	1	2	1	4	7	5	13
	定点当たり	0.07	0.05	0.03	0.07	0.04	0.04	0.06	0.02	0.09
突発性発しん	報告数	510	168	5	6	12	32	20	64	29
	定点当たり	0.22	0.24	0.14	0.22	0.48	0.29	0.18	0.24	0.21
ヘルパンギーナ	報告数	49	5	-	-	-	-	1	2	2
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	0.01	0.01	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	52	20	1	1	1	1	5	7	4
	定点当たり	0.02	0.03	0.03	0.04	0.04	0.01	0.05	0.03	0.03
急性出血性結膜炎	報告数	7	2	-	-	-	2	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.05	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	225	70	20	6	1	4	10	7	22
	定点当たり	0.33	0.34	1.25	0.50	0.10	0.09	0.29	0.18	0.43
細菌性髄膜炎 #2	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	14	3	-	-	-	2	-	1	-
	定点当たり	0.03	0.03	-	-	-	0.17	-	0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	50	12	2	1	4	3	-	2	-
	定点当たり	0.10	0.14	0.15	0.14	0.44	0.25	-	0.08	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	7	2	-	-	-	1	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.08	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	27	8	-	1	-	-	-	7	-
	定点当たり	0.06	0.09	-	0.14	-	-	-	0.28	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査  
2026年

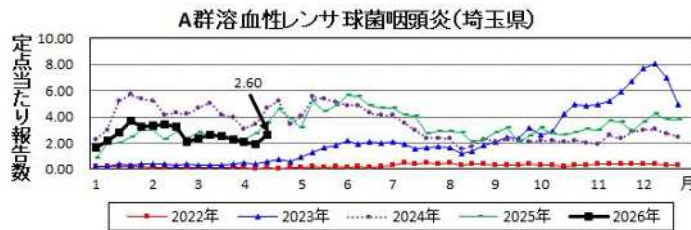
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第15週](#)

## 感染症の流行状況 2026年 第16週

2026年第16週（4月13日～4月19日）の要点

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加しました。

感染予防のため、[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	→	—	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">急性呼吸器感染症</a>	↑	—	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★			

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)\*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)\*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。  
この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。  
また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。

